

作成日 2022年4月13日

当院で腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術を受けられた患者様へ

当院では、2010年1月1日から2022年3月31日の期間に腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術を受けられた患者様を対象として、術後の急性腎障害の発生に関する危険因子を検討するための研究を行っております。本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を下記の研究に利用されることを希望されない場合には、末尾に記載いたしました研究担当者までお知らせください。

情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

**【研究名】** 腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術後の急性腎障害の危険因子に関する検討

**【本研究の目的と意義】**

腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術後の腎機能障害は1~28%の患者様に発生し、術後の死亡や、入院日数及び集中治療室滞在日数の延長に関係すると報告されております。今回、同手術後の急性腎障害(AKI)の危険因子について検討し、今後の麻酔管理においてAKIを予防する指針を見出すことを目的として、本研究を実施いたします。

**【研究対象者及び該当期間】**

2015年1月1日から2022年3月31日の期間に、当院で、腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術を施行した患者様を対象といたします。なお、成人患者様かつ予定手術のみとします。血液検査や生理学的検査、放射線検査を含めた手術に必要な検査結果と、麻酔記録、術後の経過及び各種検査結果を含む電子カルテ情報を参照させていただき、解析を行います。

**【個人情報の取り扱い】**

利用する情報は匿名化し、患者様を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等での発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用いたしません。

**【利益相反】**

本研究において、開示すべき利益相反はありません。

**【研究担当者】** 三井記念病院麻酔科 上條苑子

〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町1番地